

乳頭山

1994.3.20 (曇時々雪時々晴)

メンバー：L. 作野, 岡坂, 馬場, 山崎

朝、起きたら空は晴れ向が見えた。しかし、出発時(8時頃)にはまわりの山にはガスが降り、わずかに雪がちらつき出た。そう悪くなく、そうなので孫六の湯を8:20に出発した。少し戻った沢との出合の急登で少し汗をかきながら、林内の赤布が所々に着けられているコースを順調に高度をかき。途中2名の人と会う。2人共昨夜田代平小屋に泊ったようで大荷物を背負って下りに苦労していた。

我々は、昨夜降、こうすると新雪が積った上を軽やかに進む。10:00 田代平小屋着。小屋は新設されて、ふとんまでおいてあり快適そうである。乳頭頂上がかさっているのでも時間も早いので、しばらく滞在することとし、火を起して暖を取る。11:20 晴れて来て、ガスも上ってきたので頂上に何けて出発した。小屋から上は無之木に近く、そのせいでウインドファストした堅い雪面を登ることになった。約30分で頂上着。ちょうど又ガスがかかり風も強くなってきた。休むこともせず、すぐ滑降準備にかかり12:05 滑降開始。かりがりの斜面を赤布に沿って下り。12:20 小屋に戻った。小屋には神奈川スキー協の一行を含め約30名ほどで泊ら返し

ていた。13:00 小屋を後にして、孫六へ向う。この滑降は朝の状況ではもう少し良いと思、たか、気温も比較的高く雪質は最悪に近いモナカ状となっていて、林も濃く思うようにスキーが制御できない。若分して13:45に孫六の湯に着き、露天風呂に飛び込みビールで乾杯、無事を祝った。

タイム：孫六の湯 8:20 → 小ヒコク
8:45 → 田代平小屋 10:00/
11:20 → 乳頭山頂 11:50/
12:05 → 田代平小屋 12:20/
13:00 → 孫六の湯 13:45

